

II 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

7 英語（学校選択問題）

(1) 正答率

問題	配点	正答率		一部正答率		誤答率		無答率		通過率 率= 得点計 (人数×配点) (%)	
		数	(%)	数	(%)	数	(%)	数	(%)		
1	No. 1	2	173	57.1	0	0.0	130	42.9	0	0.0	57.1
	No. 2	2	268	88.4	0	0.0	35	11.6	0	0.0	88.4
	No. 3	2	297	98.0	0	0.0	6	2.0	0	0.0	98.0
	No. 4	2	276	91.1	0	0.0	27	8.9	0	0.0	91.1
	No. 5	2	260	85.8	0	0.0	43	14.2	0	0.0	85.8
	No. 6 (1)	3	295	97.4	0	0.0	7	2.3	1	0.3	97.4
	No. 6 (2)	3	296	97.7	0	0.0	7	2.3	0	0.0	97.7
	No. 6 (3)	3	274	90.4	0	0.0	28	9.2	1	0.3	90.4
	No. 7 (1)	3	84	27.7	39	12.9	162	53.5	18	5.9	34.5
	No. 7 (2)	3	70	23.1	13	4.3	173	57.1	47	15.5	25.5
No. 7 (3)	3	91	30.0	37	12.2	146	48.2	29	9.6	36.3	
2	問1	4	91	30.0	1	0.3	208	68.6	3	1.0	30.3
	問2	3	208	68.6	0	0.0	92	30.4	3	1.0	68.6
	問3	3	138	45.5	0	0.0	160	52.8	5	1.7	45.5
	問4	4	86	28.4	77	25.4	135	44.6	5	1.7	43.6
	問5	4	204	67.3	73	24.1	18	5.9	8	2.6	82.7
	問6 (1)	3	248	81.8	0	0.0	52	17.2	3	1.0	81.8
	問6 (2)	3	183	60.4	0	0.0	112	37.0	8	2.6	60.4
問7	4	9	3.0	31	10.2	215	71.0	48	15.8	8.7	
3	問1	4	60	19.8	147	48.5	58	19.1	38	12.5	46.7
	問2	3	108	35.6	58	19.1	83	27.4	54	17.8	45.4
	問3 A	3	202	66.7	22	7.3	69	22.8	10	3.3	69.4
	問3 B	3	118	38.9	36	11.9	139	45.9	10	3.3	44.2
	問4①	3	136	44.9	0	0.0	161	53.1	6	2.0	44.9
	問4②	3	250	82.5	0	0.0	48	15.8	5	1.7	82.5
	問4③	3	184	60.7	0	0.0	112	37.0	7	2.3	60.7
	問5	3	80	26.4	4	1.3	177	58.4	42	13.9	27.3
	問6 (1)	3	118	38.9	35	11.6	80	26.4	70	23.1	45.8
	問6 (2)	3	3	1.0	4	1.3	130	42.9	166	54.8	1.7
問6 (3)	3	58	19.1	9	3.0	99	32.7	137	45.2	20.9	
4		10	69	22.8	214	70.6	3	1.0	17	5.6	71.7

(小数第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

(2) 問題の内容

① 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る。

No. 1～3 写真についての会話、弁当についての会話、興味のある教科等、日常的な場面での会話を聞いて、絵や表の中から、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 4、5 友人が眠そうにしている理由を尋ねる、迷子になり助けを求めるといった、日常生活における「ある場面」を説明する英文を聞いて、質問に対する答えとして適切な表現を選ぶ。

No. 6 ALTが週末の過ごし方について英語で説明している。その説明を聞き取り、質問に対する答えとして適切なものを選ぶ。

No. 7 アメリカ旅行での思い出について、TomokiとAliceが話している。その会話を聞き取り、内容について英語で答える。

2 Mr. Itoと中学2年生のKen、Emma、Yuiの会話である。校外学習の班別行動の行き先を決める話し合いについて、複数のまとまりのある英文を読み、概要や大切な部分、必要な情報を把握し、場面に応じて英語で適切に表現する。

3 Mayumiは傘の歴史についての記事を見つけ、英語で文章を書いた。この英文を読んで、概要や大切な部分を読み取り、内容についての質問に答える。

4 海の近くと山の近くのどちらに住みたいかについての英文を読んで、自分の考えを〔条件〕と〔記入上の注意〕に従って、40語以上50語程度の英語で書く。

(3) 所見・解説

1 会話やまとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取る力をみようとしたものである。

No. 1 会話を聞いて、Yuji がサッカーを観戦しているところの写真を選ぶ問題である。Yuji が写真を見せながら、“My friend took it when we were watching a soccer game in the stadium.”と言っているので、正答はBである。

No. 2 会話を聞いて、Erika の弁当を表す絵を選ぶ問題である。Tony は Erika の弁当について、“The sausages look delicious.”と言い、Erika は、“Yours looks good, too. It has strawberries, but I don’t have any.”と言っているので、正答はAである。

No. 3 好きな教科について話している二人の会話を聞いて、今日が何曜日なのかを選ぶ問題である。会話の最後に、“You enjoyed music class in the afternoon.”と言っているので、正答はCである。

No. 4 Jane がテスト勉強のために遅くまで起きていたことと、それが理由でとても眠いと Kenta に伝えている場面において、Kenta は Jane に何と声をかけるかを問うものである。「何時に寝たのか」を尋ねる、Aが正答である。

No. 5 Cathy が Tom の家へ向かう途中、道に迷い、電話で Tom に助けを求める場面において、Tom が Cathy に何と言うかを問うものである。「そこで待っていて。そこへ行く」と答える、Dが正答となる。状況に応じて適切な表現を選択することが大切である。

No. 6 先週末の出来事について説明をする ALT の Ms. Brown の話を聞き取り、英語の質問に対する答えとして最も適切なものを選ぶ問題である。

(1) 質問は「Ms. Brown の家族は月に何回コバトン公園に行くのか」というものである。“We go there twice a month.”から、正答はBである。

(2) 質問は「Ms. Brown の家族はコバトン公園で最初に何をしたのか」というものである。“First, I played badminton with my children.”と言っているので、正答はDである。

(3) 質問は「Ms. Brown の話で正しいものはどれか」というものである。“we had lunch under the cherry blossoms. They were beautiful, and the sandwiches my children made were so good!”と話していることから、正答はCである。

No. 7 Tomoki とアメリカ出身の学生 Alice との会話を聞き取り、英語の質問に対する答えとなる英文を完成させる問題である。

(1) 質問は「Tomoki が Alice に写真を見せた際に、Alice は何を尋ねたのか」というものである。Alice が“Who is this man, Tomoki?”と尋ねていることから、正答は asked him who となる。

(2) 質問は「Tomoki と David どのくらいの間バスで話していたか」というものである。Tomoki が “We started talking to each other in English until I got off the bus.”と言っているので、正答は got off となる。

(3) 質問は「なぜ Alice は Tomoki のアメリカでの経験は素晴らしかったと感じたのか」というものである。Alice が “Konnichiwa created a friendship between you and him!”と言っているので、正答は friendship between となる。

「聞くこと」の学習においては、No. 1 のような短めの英語を聞くことから始め、英語を聞き取り、絵や図表等の情報につなげることへの慣れが重要である。No. 4 や No. 5 では、特定の場面・状況にお

いて聞き取った内容について、どのような応答がふさわしいのか考えなければならない。No. 6 や No. 7 のようなまとまりのある英語では、概要や要点を正確に把握するために、メモを取るなどの工夫をして、必要な情報を把握し、整理する力を身に付けておく必要がある。

- 2 複数のまとまりのある英文を読んで、概要や要点を読み取り、場面に応じて英語で適切に表現する力をみようとしたものである。
- 問1 本文の流れに合うように、単語を正しい順序に並べかえて英文を完成させる問題である。正答は want you to choose which place to visit である。「want+人+to+動詞の原形」等がポイントとなる。
- 問2 本文1の内容と合う英文を選ぶ問題である。Mr. Ito の発言に “On the day of the field trip, we will meet at Keyaki West Park at 9 a.m. Each group will start there and come back to the park by 3 p.m.”とあることから、「生徒たちは校外学習の日に2度同じ公園に来なければならない」を意味する、アが正答である。
- 問3 本文2の内容と合うように、空欄にあてはまる最も適切なものを選ぶ問題である。Admission Ticket Price List から、combo の料金は 2,700 yen であること、さらに “If you are a student, you can get a 10 percent discount.”が読み取れることから、正答はイである。
- 問4 与えられた日本語に合うように、空欄に3語の適切な英語を書き、英文を完成させる問題である。正答は everything we want 等となる。
- 問5 本文3の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。なぜ Yui はキャンパスを散歩したいのかが問われている。Yui の “Also, I want to walk around the campus because I have never been to a university campus.”という発言から、Because she has never been to a university campus.等が正答となる。
- 問6 本文1~4の会話と合うように、示された英語に続く最も適切なものを選び、英文を完成させる問題である。(1) 本文4において、Yui の “Is it near Keyaki West Park?”という発言に対して、Emma が “No, we have to take a bus.”と返答していることから、正答はイである。(2) 本文2において、Emma が “Though we get a student discount, it’s still expensive. It’s better to choose only one thing to do at the tower.”と述べていることから、正答はエである。
- 問7 本文の内容をふまえた自然な流れの1文になるように、空欄に3語以上の英語を書く問題である。空欄のある英文の前の発言に、“We are going to visit the Shirakobato Craft Center.”とあり、空欄のある英文の後に、Emma が “I did. Everyone agreed with my idea.”と発言していることから、「誰がその場所をグループの生徒に提案したのか」と Mr. Ito が質問していると予測でき、正答の Who suggested the 等を導くことができる。なお、I did.はここでは I suggested.の意味である。
- 3 まとまりのある英文を読んで、概要や大切な部分を読み取る力をみようとしたものである。
- 問1 本文の内容に関する英語の質問に英語で答える問題である。「なぜ明治時代以降日本で洋傘が人気になったのか」という質問に対して、第5段落に They became popular because of their light weight and cool design, and soon they spread around Japan. とある。Whyで問われているので、Because they were light and cool.等が正答となる。
- 問2 本文の内容に関する日本語の質問に対して日本語で答える問題である。第8段落に In my opinion, because of the high humidity, it takes longer to dry off if they get wet, so Japanese people use umbrellas more often than people in other countries. とある。冒頭に In my opinion, とあることから、「Mayumi 自身の意見」と判断できる。正答は「日本は湿度が高く、ぬれると乾くのに時間がかかるから。」等となる。
- 問3 英文の流れに合うように、空欄にあてはまる最も適切なものを選び、必要に応じて、それぞれ正しい形にかえて答える問題である。A については、It seems that they were used to A the authority of the owner, such as a king. とあることから、A には動詞の原形が入る。「傘は所有者の権威を A するために使われたようだ」という意味になることが読み取れるので、正答は show である。B については、They could open and close but were heavy and easily B. とあることから、B には分詞が入る。「それらは開閉することはできたが、重く、容易に B」という意味になることが読み取れるので、break を選び、過去分詞の broken が正答となる。
- 問4 英文の流れと合うように、本文中の3つの空欄を補う文として適切なものを、それぞれ記号で答える問題である。①のある第6段落では、20世紀以降日本で傘の製造がどのように広まったのかについて説明している。①は第6段落の最後にあるため、日本で傘の製造のことをまと

めて述べているウが正答となる。

②のある第7段落では、前文までに、*In some countries, the rainy and dry seasons are distinct. In the rainy season, it rains suddenly and stops after a short time.*と述べられている。②には他国で傘を使わない理由が入り、雨はすぐに止むという内容の力が正答となる。

③のある第8段落では、*This means that Japanese people tend to use umbrellas more often when it rains.*とあり、その後、*However, in New Zealand, people don't use umbrellas very often when it rains,...*と*New Zealand*との対比が述べられている。③には降水量はほぼ同じだが、傘の使用頻度が国によって異なるなどの内容が入ることが予想できるので、エが正答となる。

問5 単語を正しい順序に並べかえて英文を完成させる問題である。「(ときどき)私は(将来、)傘がどのようなものであるか想像する」となるため、*Sometimes [I imagine what umbrellas will be like in] the future.*が正答となる。動詞の理解や「what+主語+動詞+like」の間接疑問文等がポイントとなる。

問6 本文の内容をまとめた英文の空欄に、適切な英語をそれぞれ2語で答える問題である。

(1)については、*She learned that people in Japan started (1) after the middle of the Edo period.*と続くことから、*started*に続く動名詞とその目的語が(1)に入ることがわかる。第4段落に、*After reading some articles and books, I learned that people began to use umbrellas after the middle of the Edo period.*とあることから、「傘を使うことを始めた」と考え、動名詞とその目的語を用い、*using them*等が正答となる。

(2)については、第8段落の、*What is the reason for this difference?*から*It seems that the way of thinking about umbrellas depends on the weather of the country which you live in.*までの箇所、国によって傘の使用に対する考え方が述べられている。要約文は、*Japanese people have (2) from people in other countries about using umbrellas.*とあり、「日本の人々は、傘を使うことについて他の国の人々と(2)を持っている」という意味になるので、「異なる考え」という意味になるように、*different ideas*等が正答となる。

(3)については、第9段落に、*We may get a hint for creating a new umbrella by learning about its history.*とあり、要約文では、*She thought learning the history of umbrellas would (3) a hint for creating a new umbrella.*となっている。そのため、*give us*等が正答となる。

様々なテーマや分野に関するまとまった長さの英文を読み、理解が不十分と思われる事項の確実な定着を図りたい。

4) どのような場所に住みたいかについての英文を読んで、与えられた条件と記入上の注意に従い、まとめた内容を英語で適切に表現できるかをみよとしたものである。文中にある「海の近くと山の近くのどちらに住みたいか」という質問に対して自分の考えを述べ、さらにその理由がわかるように全部で40語以上50語程度の英語でまとめることがポイントである。

正答にならなかった解答では、不定詞、動名詞の誤用が最も多くみられた。また、三人称単数名詞を主語とした文における動詞の語法の誤りや、副詞句の[*every day*]を[*everyday*]と1語にしてしまう綴りの誤りがみられた。

問題に正対し、適切な表現を用いて内容に一貫性のある文章を書けているかということに注意を払いたい。また、文のつながりや展開等にも意識を向け、自分の考えや理由等が読み手に正しく伝わる文章を書く力を充実させたい。